

消費増税をきっかけに、疲弊した建設業界の再構築を。政府が地域産業界の代表などに消費税率引き上げの是非を聞いた8月29日の「今後の経済財政動向等」についての集重点検会合」（第5回）で、群馬県建設業協会の青柳剛会長が賛成の立場から意見を表明した。青柳会長は、増税を財政再建の重要な第一歩と捉え、中長期的な公共事業量の増加につながる

# 消費増税きっかけに業界再構築を

ことに期待を表明。これの前にやっと立つことができ、「業界の将来像を描くためのキャンパス」を点検会合で青柳会長

## 青柳群馬建設協会会長



は、群馬建協が会員に行った「景況感等に関する緊急アンケート」の結果をベースに意見を表明。景況感にはばらつきが見られるものの、税率引き

上げは「進めるべきだ」と訴えた。

財政再建につながる消費増税によって、「国土強靱（きょうじん）化を具体的な計画を立てて進めるべきだ」とも強調。

## 公共事業量確保 財政再建で期待

た。公共事業に対する国民の理解を得るために、必要な事業の選別、技術と経営に優れた企業が生き残る調達の仕組みに向けて「飽くなき取り組みが必要だ」との持論も展開。加えて、13年度の公共工事設計労務単価が大幅に引き上げられたことにも触れ、「技能労働者の賃金上昇につながっていくことになるだろう」との見通しも示した。